

おしらせ

★平成17年4月から土日も午後のみ開館しています。

★お正月は1月4日から開館しています。

★問い合わせ先

西粟倉村教育委員会 あわくら会館図書係まで

☎0868-79-2216

E-mail:toshokan@vill.nishiwakura.okayama.jp

今年ファンタジーはいかがでしょうか？

あけましておめでとうございます。

今年初めての図書館へ行くのは、一躍ブームになっているファンタジーです。今年5月に第6巻が発売されるハリ・ポッターなどは、大人でも心待ちにしている方も多いことと思います（私もその一人です！）。他にも映画化で話題になったロード・オブ・ザ・リング（『指輪物語』）など古典から新作まで話題には事欠きません。

そんな中、今年3月にはC.S.ルイスのナルニア国物語の第1巻『ライオンと魔女』が、映画化されます。このお話は古く、日本では昭和41年に第1巻が刊行され、子ども図書館にも昔からあります。子どものころ読んだと言う方もおられるではないでしょうか？



ナルニア国物語 全7冊

第二次大戦中の英国で疎開した兄弟が、疎開先の家の衣装タンスを

通って、人の言葉を話す動物たちが住むナルニア国に迷い込んでしまいます。そこでは善と悪、真の勇気や信頼と裏切りなど深いテーマと共に壮大な物語が展開していきます。

7月には、アーシュラ・K・ル＝グインの『ゲド戦記』も映画化されるようで、古典から最新作までの映画ラッシュの年にもなりそうです。公開を待つ間にまず原作を読んで、今年はあなたもどっぷりファンタジーしてみませんか？

えかた
でえ

「きみに読む物語 ～もうひとつの愛の奇跡～」

著：ニコラス・スパークス
アーティストハウス

前作よりも登場人物が増える分、ラストの感動も増えました！！

どんな夫婦にもありがちな溝。でもそれはお互いの努力でいくらでもロマンチックな関係になれる。日本人の習慣とは違うところも多いですが、毎日をただ一緒に過ごすだけでなく、ちょっとした心懸けで人間関係は良くなるんだなあ実感しました。ちょっとしたどきりもあり、ラストはとても心温まるものでした。

（匿名希望）

図書館へ行こう！

児童書

お正月の新着本



◀おふとんのくにのこびとたち
作：おちのりこ 偕成社

「つまらないなあ」 ひさこちゃんはお熱があつて、今日はおとなしく寝ていなければなりません。ところが、お布団には秘密があつて、それがなんと、熱のある子どもにしか見えないものだったのです…。

ゆきのひのホネホネさん ▶

作：にしむら あつこ 福音館書店

がいこつのゆうびん屋さん、ホネホネさんは雪の日もギコギコ自転車をスキーに代えて、毎日お手紙を配達してくれます。ホネホネさん、スキーの腕前はなかなかのもの。どんな坂道も、大きな穴の開いた道もザクザクシューと進みます。



ノーム

作：ゲイル・ヒュグン サンリオ

ノームは、四大精霊のうち、地を司る精霊。主に地中で生活しており、老人のような容顔をした小人のこと。あなたは知っていますか？ ノームの力が人間の7倍もあるってことを。お別れのあいさつは鼻と鼻をごすりあわせてするってことを。不思議な不思議なノームの世界を紹介します。

一般書

◀幸福な食卓

著：瀬尾まいこ 講談社



父さんが自殺を失敗したときも、母さんが家を出たときも、朝は普通にやってきた。そして、その悲しい出来事のおとも…。とても切なくて、ちょっとおかしくてあたたまる、心にふわりと響く長編小説。

海賊モア船長の憂鬱 ▶

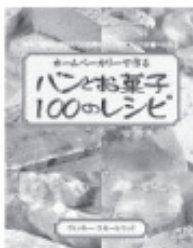
著：多島斗志之 集英社

「伝説の海賊」と「失われた宝石」を巡る男達の戦い。英、仏、蘭が覇権を競う18世紀インド洋。東インド会社の密命を帯び、マドラスへ赴任したマイケル・クレイは、悪名高き海賊ジェームズ・モアと出会った。男達の戦いを描く本格海戦小説。



◀パンとお菓子100のレシピ

著：グイッキー・スモール 産調出版



「ブルーチーズとりんごのパン」や「オリーブとオレガノ」、「ケイジャン風…」など日本のレシピでは見かけない組み合わせが見て楽しい。また「ピサラディエール」や「コーデジロール」のように、聞いたことないけれど、イギリスでは一般的（？）と思われるものもあり、勉強になる。新年のお休みに、ぜひ挑戦してみませんか？